

2019年8月18日

福音書からのメッセージ

あなたがたは、わたしが地上に平和をもたらすために来たと思うのか。そうではない。言うておくが、むしろ分裂だ。

(ルカによる福音書 12 章 51 節)

今日の福音書は、「分裂をもたらす」という箇所です。「わたしが来たのは、地上に火を投ずるためである」と語るイエス様の言葉は、とても恐ろしいものです。イエス様はどのような状況で、このようなことを言われたのでしょうか。

わたしたちが聖書を読む中でいつも心掛けたいこと、それはイエス様の十字架と復活の出来事をいつも心に留めながら読むということです。わたしたちが自分だけの力で平和な世界を作れるのだとしたら、イエス様は必要なかったでしょう。しかしそうはなれない現実があるのです。

イエス様の十字架がなく、わたしたちがそれぞれ自分勝手に生き、自分こそ正しい、自分こそ立派なおこないをしていると主張するとき、わたしたちには分裂しかありません。イエス様の十字架によってのみ、わたしたちは生かされる。しかしそこには、わたしたち一人一人の決断が必要だし、その決断にも分裂が伴うのです。

小学生のころ、こんな実験をしたことはなかったでしょうか。机一杯に釘を置き、上の方から磁石を近づけていく。釘の上に、少しずつゆっくりと近づけていくと、ある瞬間に一本、ポーンと上に飛びあがって磁石にくっつく釘が出てきます。仲間の釘から一本だけ離れて、磁石にくっついていく。イエス様の十字架に生かされるということは、わたしはこの釘のようになることではないかと思うのです。

イエス様は、「わたしに従いなさい」と一人一人を招かれる。とても不安です。恐いです。周りの釘たちと別れ、違う世界に



飛び込むのです。イエス様がみんなと一緒に声を掛けてくれたら、巨大な磁石ですべてを吸い上げてくれたら、そう思うかもしれませんが、しかしイエス様は一人一人を、それぞれのタイミングで呼ばれます。そして、磁石に向かって飛び立つかどうかは、あなたが決めることです。

そのときに、釘同士の間で起こること、それは確かに分裂です。今まで一緒だったものが、別々になっていく。でも、イエス様の招きはそこで終わりません。イエス様はこの世のすべての人が救われるように、この世に遣わされました。一人も滅びることのないように、それが神さまのみ心です。だから、イエス様という磁石は、何度も、何度でも、わたしたちの上に来るわけです。

次のタイミングで、直接イエス様に結び付けられる人も出てくるでしょう。また磁石につけられた釘の先に別の釘がくっつくように、わたしたちを通してイエス様に結びつく人も出てくるはずです。肝心なのは、すべての人がイエス様を土台としているということです。イエス様に結びつき、イエス様に信頼し、イエス様にすべてを委ねるとき、わたしたちは分裂から平和へと、導かれていくのではないのでしょうか。

桃山基督教会

〒612-8039

京都市伏見区御香宮門前町 184

Tel/Fax 075-611-2790

メール momoyama.kyoto@nssk.org

<教会ホームページ>

<http://momoyama.hannnari.com/>